

博士前期課程日本語学専攻 入学試験 筆記試験問題例

筆記試験の試験は、小論文です。問題は、当日出題されるもの(1問)と、出願後に受験票と一緒に送付されるテーマに関するもの(2問中1問を選択)があります。

当日は、メモ等の持ち込みはできません。

・出願後、事前に送付されるテーマ

- 【A】 日本語学 Grice の公理
- 【B】 日本語教育学 第二言語の産出の特徴(流暢さ・正確さ・複雑さ)について

・試験当日の出題

〈問1〉は全員解答してください。〈問2〉は【A】か【B】いずれか一つに解答してください。解答するテーマは出願したコースに関わりなく自由に選ぶことができます。

〈問1〉 他者と面と向かって直接やりとりをする「対面コミュニケーション」とインターネットなどのネットワークを経由してやり取りをする「オンラインコミュニケーション」を比較しなさい。

〈問2〉

【A】 日本語学

- 1 Grice の公理における4つの会話の公理について、具体例を用いて簡単に説明しなさい。
- 2 以下の会話*において、Bの会話はどのGriceの公理に違反しているか述べなさい。それによって、Bがどのような意図を伝えようとしているか述べなさい。
- 3 以下*は、AとBのパーティーから帰る途中での会話です。B、B'、B''は、それぞれどのような意図を伝えようとしているか述べなさい。

※具体例は公開していません。

【B】 日本語教育学

- 1 以下の用語をそれぞれ説明しなさい。
 - (1)「語彙知識の広さ」と「語彙知識の深さ」
 - (2)「受容語彙」と「産出語彙」
 - (3)「付随的語彙習得」
- 2 以下の文は、L2日本語学習者が書いた文の例*です。それぞれ語彙の誤りが1つあります。その誤りを指摘し、正しい表現に改め、その誤用に語彙知識(の側面や要素)がどのように関与しているか、分析しなさい。
- 3 日本語で書かれた文章を読んでいて知らない語に出会ったとき、L2学習者はどうするか。どのようなストラテジーを使うか、できるだけたくさん挙げて説明しなさい。

※具体例は公開していません